

令和5年度 第2回 明浜小学校学校評価アンケート集計結果

評価について・・・A当てはまる Bやや当てはまる Cやや当てはまらない D当てはまらない 達成率=(A×4+B×3+C×2+D)/(A+B+C+D)/4×100

項目番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	前回
1	教	保護者や地域と連携・協力した教育活動に取り組んでいる	5	4	0	0	0	89%	97%
	児	地域の方や家の人といっしょに学習することができた	50	32	6	0	0	88%	87%
	保	学校は、保護者や地域と連携・協力した教育活動に取り組んでいる	21	39	1	0	1	83%	80%
	分析改善	児童、保護者の達成率は増加している。各学年で、保護者や地域との連携した教育活動ができている。教職員の割合は減少しているが、計画していた活動においては、きちんと連携して教育活動ができた。今後も、保護者や地域と連携した教育活動に努めるとともに、学校支援ボランティアの方々とも協力して活動を行いたい。							
2	教	児童は、学校に行くのを楽しみにしている	3	6	0	0	0	83%	89%
	児	学校でみんなと学習したり、遊んだりするのが楽しい	68	19	1	0	0	94%	96%
	保	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている	20	34	6	1	1	80%	81%
	分析改善	達成率が、前回に比べ減少している。今回は、行事がたくさんあり、教職員、児童にとっては、毎日忙しい日々だったと考えられる。また、児童のほとんどは「B」以上の評価をしており、90%を超えている。今後は、学習内容の理解を深め、児童、教職員にとって「学びが楽しい、学校が楽しい」と思えるように、教科指導の充実や雰囲気づくりに努めたい。							
3	教	児童の学習意欲を高め、主体的に学習する態度の育成を図っている	5	4	0	0	0	89%	89%
	児	自分から進んで授業や家庭学習で積極的に取り組んでいる	49	32	6	1	0	87%	85%
	保	子どもは、自分から進んで学習に取り組んでいる	14	33	14	1	0	74%	70%
	分析改善	児童、保護者ともに、達成率が増加している。どの学年も1人1台端末を活用して、ICT機器の効果的な活用や教材研究に努め、授業形態やいろいろな手法を用いて授業展開を図り、充実した授業ができている。また、どの児童にも分かる授業を心掛けた。今後も、児童が自信を持ち、積極的に学習に取り組めるよう、教職員が一丸となって授業改善に努めていきたい。							
4	教	家庭学習習慣の定着・向上に努めた	6	3	0	0	0	92%	86%
	児	決められた時間の家庭学習をしている（低30分、中45分、高60分）	59	22	5	2	0	89%	88%
	保	学校は、家庭学習習慣の定着・向上に努めている	20	35	4	0	3	82%	78%
	分析改善	達成率が増加している。学校では、月1回、家庭と協力して「家庭学習・生活調べ」をしており、家庭での学習や生活について指導している。児童の「C・D」評価や保護者の「C・？」評価を受け、今後は、児童自身に結果に対して、どう取り組んでいくか考えさせるとともに、「家庭学習・生活調べ」の結果を保護者に伝え、連携を強化していくことが大切である。							
5	教	読書意欲の向上に努めた	6	3	0	0	0	92%	89%
	児	目標とするページをめざして読書をしている	56	20	8	4	0	86%	84%
	保	子どもは、学校や家庭でよく読書に取り組んでいる	18	28	15	1	0	75%	73%
	分析改善	達成率がすべて増加している。児童へ積極的な声掛けや時間を見付けては本を借りる時間を増やした結果である。図書室の配置換えや、あけはま座さんとの連携強化を図った成果と考える。今後も、あけはま座さんを含め、市立図書館の本の入れ替えを定期的に行っていく。また、家庭でも読書をするよう声掛けをしてほしい。							
6	教	主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に努めた	2	7	0	0	0	81%	81%
	児	先生の授業はよくわかる	65	22	1	0	0	93%	95%
	保	先生は、一人一人によくわかる学習指導をしている	19	36	5	0	2	81%	79%
	分析改善	児童の達成率が減少しているものの、保護者は増加している。児童の達成率は減少したが、依然高い達成率を維持している。教職員は、忙しい日々の中、教材研究のため遅くまで仕事をしている。ワークライフバランスを考え、時間を有効に活用して、教材研究を深め、児童一人一人によくわかる授業を展開できるよう個に応じた指導をしていく。							
7	教	一人一人の児童に応じた指導・支援ができた	5	4	0	0	0	89%	81%
	児	先生は一人一人の話を聞いてくれる	70	15	2	1	0	94%	94%
	保	学校は、一人一人の話をよく聞いてくれている	18	35	2	0	7	82%	79%
	分析改善	教職員、保護者の達成率は増加している。児童の達成率は変わらないが、「C・D」評価をする児童がいるため、教職員一人一人が、児童の声により耳を傾けるようにしていく。また、教職員と保護者がしっかりと連携を取り、児童に寄り添う雰囲気づくりに努めたい。							

項目番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	前回
8	教	いじめの早期発見・早期対応、解消に努めた	6	3	0	0	0	92%	89%
	児	いじめのない学校だと感じる	44	34	10	0	0	85%	88%
	保	学校は、いじめ防止に取り組んでいる	15	34	2	0	11	81%	77%
	分析改善	教職員、保護者の達成率が増加している。毎月の「なかよしアンケート」、学担による教育相談や学担以外による教育相談も行っている。また、職員会議でも情報交換を行い、児童のちょっとした変化にも対応している。休み時間には、児童との関わりを通して、いじめの早期発見・早期対応にも努めている。今後も、些細なことにも迅速に対応していく。現時点において、いじめと思われる事案や辛い思いをしている児童はいないと思われる。「C」評価をしている児童には、話を聞きいじめと思われる内容はない。継続したアンケートや日々の児童の様子を注意深く見守り、早期発見・早期対応を行い、横のつながりを強化し、全教職員で情報共有を図るとともに、家庭との連携を深める。							
9	教	お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	5	4	0	0	0	89%	92%
	児	思いやりの心を持ち、友達と仲良く生活している	62	24	2	0	0	92%	94%
	保	学校は、お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	19	39	1	0	3	83%	80%
	分析改善	教職員、児童の達成率が減少した。教職員は、前回と比べ達成率が減少したが、一人一人意識して取り組んでいる。厳しい評価をしたものと考えられる。保護者には「？」と解答した方がおり、道徳教育を中心とした学校教育の取組を発信する必要がある。「C」評価をした児童が減るよう常に意識した教育を行いたい。							
10	教	道徳科をはじめ道徳教育の充実に努めた	3	5	1	0	0	81%	83%
	児	道徳の時間に学習したことは役に立つと思う	75	10	2	1	0	95%	95%
	保	学校は、道徳教育の充実に努めている	17	39	2	0	4	81%	80%
	分析改善	教職員の達成率が減少している。道徳科を中心とした教育活動の充実に努めたい。児童同士では、思いやりや互いを認め合うことが十分にできている。休み時間や授業中の児童の様子を見てみると、優しい声掛けや手助けしている場面を多く見る。今後も、道徳科を中心とした全教育活動において、しっかりと思いやりや互いを認め合えるよう努めていく。また、学級通信やホームページでも、学習したことを家庭と共有していく。							
11	教	児童や保護者が相談しやすい雰囲気作りができています	4	5	0	0	0	86%	83%
	児	心配なことや悩みがあるとき、先生に相談できる	40	28	15	5	0	79%	82%
	保	学校は、児童や保護者が相談しやすい雰囲気作りができています	17	35	3	1	6	80%	78%
	分析改善	教職員、保護者の達成率は伸びている。相談しやすい雰囲気づくりができていていると感じる。今後も引き続き達成率が伸びるよう努力していきたい。児童の「C・D」、保護者の「C・D・？」評価をしっかりと受け止めて、対応していきたい。しかし、児童からは、「先生に相談することがない」「相談する内容はない」という児童が多い。「先生」に相談ではなく、「大人」とした方がよいのかもしれない。							
12	教	挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んだ	6	3	0	0	0	92%	97%
	児	自分から進んで、大きな声であいさつをしている	50	29	8	1	0	86%	87%
	保	学校は、挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んでいる	21	37	3	0	1	82%	81%
	分析改善	朝の挨拶はもちろんだが、地域から、「挨拶が元気よくなっている」との声を多く聞くようになってきた。学校だけでなく、家庭や地域でも進んで挨拶ができるよう引き続き指導していく。今後も、家庭、地域と連携を密にして取り組んでいきたい。							
13	教	命を大切にし、安全に気を付ける指導ができた	7	2	0	0	0	94%	94%
	児	自分の命を大切にし、安全に気をつけて生活している	75	12	0	1	0	96%	98%
	保	学校は、命を大切にし、安全に気を付ける指導ができています	20	38	1	0	3	83%	91%
	分析改善	児童、保護者ともに達成率が減少している。教育活動全体を通して、避難訓練や日常生活での安全面など、命の大切さについて、児童とともに考え、実践へとつなげている。教職員、児童とも90%を超えており、今後も充実した安全教育に努めたい。保護者には、家庭への情報発信ができていなかったと捉え、安全教育について、しっかりと情報を発信していく。							
14	教	教育目標を念頭に教育活動に努力している	5	3	1	0	0	86%	89%
15	教	温かく支え合う居心地のよい職場づくりに努めることができた	5	4	0	0	0	89%	92%
16	教	超過勤務時間の削減に努め、心身の健康管理に努めることができた	3	6	0	0	0	83%	81%

自由記述

保護者	子どもが楽しく学校に行ってくれ、学んだ事を家で教えてくれるのでありがたい。	楽しく学校生活を送っている声が聞け、教職員としてうれしい限りである。
	5分の休み時間では、次の授業の準備をしているとトイレに行く時間の確保ができず、我慢することがある。もう少し長くすると助かります。	今後検討していくが、5分休憩を伸ばすと、休み時間が減ることや、給食が遅くなるのが考えられ難しい。5分でトイレや準備ができるよう指導していく。 トイレについては、どの学年も授業中であっても、行ける雰囲気づくりはできており、我慢しないでいいことを児童に伝えている。
	教育相談で、担任以外の先生と話ができることがうれしかったようです。話した内容も教えてもらいました。ありがとうございました。	担任以外の教育相談のよさがでていてうれしい。今後も継続していきたい。